平成２４年度事業総括

理事長　川　島　典　之

平成２４年度は、次の中期５年事業計画に向けての２年目です。

今年度、**特筆すべきは、平成２４年１１月２１日に内閣総理大臣賞を受賞したことです。**この受賞理由は、『「犬山子ども大学」などで、子ども達に自然体験講座や多文化共生講座など多種多様なプログラムを提供し、子ども達が学校や家庭では得られない貴重な「挑戦・体験・感動」すること、生きる力と豊かな情緒を育む自己形成支援をしています。さらに、多国籍の子ども達の学習支援を地域のコミュニティと連携して行い、外国人が地域に溶け込みやすい土壌づくりをしています。』ということです。

第４回 Make a CHANGE Day では、「犬山子ども大学」が奨励賞を受賞しました。

今年度は、財団法人ＪＫＡ（競輪）から「子ども自然教室」「生き物探検隊クライマックス」「新冒険教室」の補助を受け、愛知モリコロ基金からは「木曽川源流　夏・冬交流合宿」が助成を受けています。

犬山西地区コミュニティ推進協議会が正式に市の助成団体として活動する運びとなったことをとても喜んでいます。しみんていにも時々相談に来ていただき、５年かかって承認されました。本当におめでとうございます。

城下町の人たちが、毎月第３日曜日に「城下町１００縁（円）市」を立ち上げたのでそれに参加しました。また、**「犬山城下町おひなさまめぐり」**の実施を目的に実行委員会が出来たのでそれにも参画しました。城下町での協働事業が着々と広がってきています。

２４年度も充実した年度でした。会員、理事の皆さんのご支援、協働の意識に心から感謝申し上げます。理事の皆さんとともに、なお一層地道に中間支援機能を高めていきたいものです。

人材交流・ネットワーク促進事業について

１　楽田地区コミュニティと（特）シェイクハンズと協働して、在住外国人の子どもの学習支援**“おかえりなさい塾”**と**“みんなの日曜塾”**を市の事業として開催してきましたが、今年度からシェイクハンズにお任せすることにしました。

２　**「犬山子ども大学」**は、２２講座４３１人の子どもが参加して、年間延べ２３０日活動し、６２１人のボランティア指導員が活躍してくれました。

３　**馬瀬夏季交流合宿**は、６年目で２４人の子どもが参加。さらにプログラムが輝きを見せて大成功。**２年目の「冬の交流合宿」**は、２４人の子どもと愛知淑徳大学の学生６人、スタッフ１０人の大所帯でしたが、子ども達は学生ボランティアと仲良くなり、イグルー作りや、カンジキをはいての山登りも、ボランティアの助けを借りて見事に完遂し、大いに感動を体験しました。

４　**「市民活動交流フォーラム」～東日本大震災　今、私たちに何ができるか？～**

どうなるか心配しましたが、何とか成功したのでは？と考えています。岩手県から２名の被災者と県内で活動している３団体が参加してくれました。この催しができたのは、ＮＰＯ法人愛知ネットの天野竹之理事長のおかげです。改めてお礼申し上げます。

（Ⅰ） 研修事業

本講座は、行政、企業、市民（ＮＰＯ）の各セクターを問わず、地域社会の未来をともに手をつなぎながら描いていこうとしている人々に対して、新しい集団づくりに必要な考え方や手法を体験する場を提供し、市民参加のまちづくりに取り組もうとする人材の育成や、ネットワークの拡大を図ることを目的として開催しました。

『いぬやま未来塾　～ファシリテーションの基本から応用～』

（１）〝聞く技術〟や〝書く技術〟などファシリテーションの基本スキルを習得する。
（２）長期的な見通しを持ち、物事を俯瞰的に捉える力やバランス感覚を養う。
（３）会議などの組織運営や人材育成の現場に参加体験型の場づくりの手法を導入する際に必要な視点と、その成果を確実なものにするポイントを学ぶ。

◆講師　井上淳之典（いのうえ あきの すけ）　寺小屋プロジェクト代表

回	とき・ところ	テーマ	内容	人数
第0回	6月10日（日） 13:00-17:00 犬山市福祉会館	オリエンテーション「プレ学習会」	✦全４回の概要説明（オリエンテーション） ✦簡単な経営ゲームを使ったワークショップ ✦NPO 経営の基本とファシリテーションなど	７名
第1回	6月24日（日） 13:00-17:00 犬山市福祉会館	「聞くこと」は、すべてのコミュニケーションの基本	✦インタビューゲーム体験 ✦ブレーンストーミング実習　など ※人が集まる場づくりの基本について	７名
第2回	7月　8日（日） 13:00-17:00 犬山市福祉会館	「書くこと」で、議論が手に取るように見える	✦ファシリテーショングラフィック体験 ✦ワークショップサイクル（発散と収束） ※会議活性化のコツや工夫について	７名
第3回	7月22日（日） 13:00-17:00 犬山市福祉会館	「考えること」を考える―企画を生み出すポイント	✦マーケティングゲーム体験 ✦カード集類法、簡易情報集約法実習 ✦フレームワークとプロセスデザイン　など	９名
第4回	8月19日（日） 13:00-17:00 犬山市福祉会館	「話の中身のみならず背景にも注目！」	✦コンセンサスゲーム体験 ✦コンテンツ（中味）とコンテキスト（背景） ※合意形成を促すコツや必要な視点	８名

【成果と反省】

今回の講座は、ボランティア活動をされている方や職場でファシリテーション技術を生かしたい方など、様々な方が参加されました。グループワークを中心とした講座内容で参加した方々は、「ワークショップ」や「ファシリテーション」について体験からの気づきが多く得られ、理解を深めることが出来たとの感想を多く頂き、講座期間中に学んだ事を実践した方もみえました。

（Ⅲ）普及啓発・情報提供事業

「しみんてい」の周知のために、犬山市内及び愛知県下、岐阜県、三重県の自治体・NPO 向けにペーパーによる広報活動を行うと共に、ホームページの充実、「しみんてい」内の掲示板、各種チラシの掲示の充実を図ってきました。

さらに、自治体、地域コミュニティ組織及びＮＰＯへ指導者を派遣したり、各会合へ参加するなどして「しみんてい」の普及啓発に努めています。

（1） ニュースの発行

隔月で発行し、配布先は愛知県下、岐阜県下、三重県下の自治体をはじめ NPO 向けに配布している。

①・ 発行回数　６回（５８号～６３号）、木曾川源流　夏・冬の交流合宿特別号

② 発行部数　2,０００部（毎回）

③ 配 布 先　会員、愛知県下の自治体、主な NPO、岐阜県及び三重県の自治体及び主な NPO へ配布。

（2） ネットワーク運営事業

①ホームページの充実

②催事カレンダー（犬山市内の行政・NPO の活動カレンダー）の作成

③当会所属の団体の活動紹介を順次掲載しています。

（3） まちの駅・しみんていの活動のＰＲ活動の推進

① 第１日曜日及び第３日曜日の「しみんてい広房」を開催しています。
☆ 第１、第３日曜日に新鮮な野菜、コーヒー、抹茶等を担当の理事を決めて実施。
☆ 第３日曜日には、「城下町 100 円（縁）市」を開催し、綿菓子を販売しています。

（4） 各種ＮＰＯへの掲示板及びポスター掲示場所の運営

（5） 普及啓発活動

① 協働事業

★「春のお城まつり」、「城下町秋祭り」、「焼酎祭り」、「ビール祭り」、「ワイン祭り」、「あったか鍋と地酒祭り」、「城下町 100 円(縁)市」、「犬山城下町おひなさまめぐり」、「犬山市産業振興祭」、「集まれ犬山っ子」、「塔野地区の集い」、「楽田地区コミュニティ推進協議会」、「犬山市青少年健全育成市民会議『オアシス運動』」、「多文化地域づくりセミナー」など１４件

② 市並びに各種団体への講師及び委員派遣

★各種委員会への委員派遣・・・コミュニティ政策学会、大口町ＮＰＯ促進委員会、市民フォーラム２１ＮＰＯセンター、ボランタリーネイバーズ、犬山市男女共同参画推進協議会、犬山市男女共同参画市民会議、犬山市次世代育成推進協議会、犬山市青少年問題協議会、犬山社会教育審議会、犬山里山学センター運営協議会、市民展企画委員会、犬山城下町まちづくり協会、古代邇波の里・文化遺産ネットワーク、犬山まつり実行委員会、１４件

③ 各種会合への参加

★犬山市交礼会、犬山まつり実行委員会、城下町まちづくり協会４件、あんきにくらそう会総会、犬山甲冑制作同好会総会、市民フォーラム２１総会、理事会、楽田地区コミュニティ推進協会総会、楽田小、愛フェス実行委員会、第４回 Make a CHANGE Day 実行委員会、犬山城下町おひなさまめぐり実行委員会など、２０件

〔Ⅲ〕 相談・助言事業

（1） 概　要

「しみんてい」の運営及び「犬山しみんていの会」の事業実施に伴うコーディネイトを行い、団体・グループ、個人への相談には丁寧に応対し、時にはアドバイスもしています。

（2） 具体的な活動

ア，コーディネイト

人材育成事業、人材交流・ネットワーク促進事業を通じ、また各種相談の中から、コーディネイトが必要なものについては積極的に対応しています。
犬山子ども大学はその中でも、最も大きな事業です。

イ，相談に関する業務

① 市民活動相談

★ ＮＰＯ法人に関すること・・・・・３件

★ 活動に関すること・・・・・・・２３件

★ 市町職員への相談・アドバイス・・８件

② ボランティアにかかわる相談・・・１５件

③ 各市町村職員・議員、市民活動団体の視察及び相談

内閣府政策統括官川田晴紀、犬山西コミュニティ準備会、扶桑北中学校、各務原市ライフデザイン課、岐阜大学益川准教授、ＮＰＯ団体各務原まちづくり、福井大学建築建設工学専攻（卒論のため）、お茶の水女子大学堀川尚美、京都府精華町議会議員、発達支援室てんとうむし、ＮＰＯ法人いきいきライフサポート・あいち、会議ファシリテーター普及協会、１２件

ウ，犬山市民活動支援に関する条例に関わる相談・アドバイス

① 助成金に関するもの・・・１５件

② 登録に関するもの・・・・・３件

〔Ⅳ〕人材交流・ネットワーク事業

（1） 内閣総理大臣表彰をいただきました！！
～多くの皆さんのお蔭です～

平成２４年１１月２１日（水）内閣総理大臣官邸で当時の野田佳彦総理から直々に賞状と楯をいただきました。

内閣府発行の「子ども若者育成・子育て支援活動の紹介」より活動内容を引用させていただきます。とても良く書けているからです。

民間非営利の市民活動や地域のボランティア活動を支援する傍ら、自らも率先して地域との協働事業を企画実施しています。特に子ども・若者（外国籍を含む）を対象とした事業を展開して、子ども達に自然体験型講座や多文化共生講座など多種多様なプログラムを提供し、子ども達が学校や塾、家庭では得られない貴重な「挑戦・体験・感動」をすることで、生きる力と豊かな情緒を育む自己形成支援をしています。

また、平成１６年度から、子ども達が学ぶ喜びを感じ、自主的に学ぶ気持ちを育てる事業として、「犬山子ども大学」を開講しており、年間２１０回（２１講座×１０回）【注：平成２３年度の数字】の多種多様なプログラムを提供しています。約４５０名の子どもたちが１年を通して、自然体験型講座、電子工作講座、日本の伝統文化を学ぶ講座などに参加しています。受講者を犬山市の小中学生に限定せず広域に募集しているため、犬山市及び近郊市町から多くの受講者が参加し、年々その数は増加していることからも、本事業が今後も広く普及していくことが期待されています。

さらに、多国籍の子どもたちの学習支援を行う「おかえりなさい塾」「みんなの日曜塾」を、楽田地区コミュニティ推進協議会と連携して開催しています。具体的には、地区のコミュニティが管理運営する楽田ふれあいセンターを会場とし、事業の推進において地域ボランティアの協力を得ています。地域のコミュニティとの関わりを深め、連携した事業を行うことで、外国人が地域に溶け込みやすい土壌を作り、日本人コミュニティと外国人コミュニティとの橋渡し的な役割を果たしていることから、多文化共生推進におけるモデルとしても注目を集めるとともに、少子化社会の中で地域の青少年健全育成の場の拡充に寄与しています。

(2) 市民活動交流フォーラム
～東日本大震災！今、私たちに 何ができるか？～

重いテーマだけど、中間支援組織として何かしなくていけないのでは？「東北を忘れていません！」「東北の実情を市民の人たちに知ってもらうこと」、「市民に情報を提供する。」そこから市民の人たちに何をすればよいのか考えてもらう機会としようということから計画づくりが始まった。

９月２９日にモリコロ広場で、東北支援とファンドレイジングと銘打って「愛フェス２０１２」をＮＰＯ法人愛知ネットが開催している機会に、天野竹之理事長に来県していた東北の人たちを紹介していただいた。その中から２人に今回のフォーラムに参加していただいた。

２月１７日（日）に２４年度のフォーラムを犬山市南部公民館で開催しました。

「基調講演」は愛知ネットの理事長天野竹之さんです。

東北の生々しい悲痛な声が入った３月１１日の地震・津波のビデオを、１０分程度見てから話が始まりました。天野さんは、当時情報ネット構築のためＪＡＸＡなどと現地近くにいました。何かしなくてはと考え、釜石や大船渡での衛星回線の開設を手初めに、災害ボランティアとして炊き出し、被災地ＮＰＯ支援、愛知ボランティアコーディネイター、医療、看護、カウンセラーチームによるケアーと幅広い活動をしました。また、デリカフーズによる緊急支援や自治体との地域連携、自立のための仕組みづくりへと段階的に活動を広げていきました。

行政の仕事はインフラ復旧とまちの復旧、個人の仕事は自宅の再建、事業主は働く場所としての事業の再建です。そういう意味で企業の力の再認識、コンビニは新しい拠点としての認識、そして目に見えない重要な「人のつながり」の大切さ等がこれからの課題です。

「パネルディスカッション」では、陸前高田で「動く七夕まつり」を仕掛け、町を元気にしようと活動している**福田利喜さん**、岩手県住田町下有住地区公民館長で、仮設住宅生活支援相談員の**金野純一さん**。仮設住宅に自治会を作り、孤立や孤独を軽減する施策など、いろいろ仕掛けを考えてきたそうです。

県内からは、**「絆プロジェクト」代表の西島千絵さん**。彼女達は、東日本大震災の支援プロジェクトの立ち上げを昨年の春にやり遂げています。

「愛チカラ」の代表代行の御堂大貴さん。彼らは、月に１回程度石巻にバスを出したり、福島の子ども達を２週間愛知に招いてキャンプを行ったりしています。

愛知県立大学ボランティアグループ Ruff の代表の山室里美さん。彼女達は、岩手県の陸前高田や気仙沼などでの瓦礫撤去作業や学習支援の様子を語ってくれました。

最後に、私たちに何ができるかを問うたら、「心のどこかに思い起こす、思い続けること」その為に、それぞれのところでそのきっかけとなるイベントを企画実行し続けること。また「物を持ってこなくてもよいので、話に来て交流してほしい」との話がありました。

（３） 木曽川源流・夏の交流合宿

平成２４年度あいちモリコロ基金助成事業

『昔ながらの山村風景のなかで 心が躍る、感動体験をしよう！！』

８月２３日（木）１日目　高山市清見
おっぱら自然体験センター宿泊
☆砂金・水晶採り　☆野菜収穫
☆ランタンづくり・ナイトハイク

８月２４日（金）２日目　下呂市馬瀬
水辺の館宿泊
☆沢登り　☆森を散策・クラフト作り
☆バーベキュー交流会

８月２５日（土）３日目
☆森林アドベンチャー
☆馬瀬川釣り名人

◆参加者
子ども２４人、スタッフ１０人、
現地スタッフ５人、計３９人

●子ども達が自然に活動しながら仲間との付き合い方、関わり方を学ぶには、二泊三日の宿泊交流が最適と考えています。自然の偉大さ、怖さもその中から感じてもらうことを期待しています。

●私が一番関心を持っているのは、子ども達が感動体験をすることです。砂金を見つけた、水晶をとった。沢登りは水が冷たく、厳しい活動です。苦しい中で滝壺の終着点に到達したときの子ども達の心に何が湧き起こるかです。「ヤッター！」という声と共に、心には充足感が溢れているはずです。

●森林アドベンチャーでも、危険いっぱいのコースをやりきった時の感動・喜びは、何にも代えがたいものです。「釣り名人」での魚を釣り上げた時の気持ちも・・・。

●「感動」は活動への意欲を駆り立てるものです。次への活動への弾みになります。これを数多く子ども達には味わってほしいのです。そのために、今後も多少の危険を感じながら達成感を得られる活動を入れてゆきます。

（４） 木曽川源流・冬の交流合宿

平成２４年度あいちモリコロ基金助成事業

『白銀の世界の中で
思いっきり遊びまわり、
感動体験をしよう！』

１月１２日（土）　　１日目
おっぱら自然体験センター宿泊
☆イグルー作り　☆イグルーで交流

１月１３日（日）　　２日目
☆カンジキ山登り　☆ナイトハイク
☆交流会

１月１４日（祝・月）３日目
☆花もちづくり

◆子ども２４人、スタッフ１０人、
愛知淑徳大学小島ゼミ生６人、計４０人

●今年度で２回目です。子ども参加者も目いっぱい受け入れました。２４人です。

●この合宿のメインは「カンジキ山登り」です。山は低いのですが、慣れないカンジキを履いての山登り、相当悲鳴を上げた子供もいるはずです。苦労しながら１時間半での頂上での風景、光景は登った人にしかわかりません。子ども達の風景は想像できます。

●「ヤッター」「たっせい！！」「登ったぞー」。この気持ちを大切にしながら事業を行っています。

(5)「子ども自然教室」「生き物探検隊ｸﾗｲﾏｯｸｽ」「新冒険教室」

公益財団法人ＪＫＡ　競輪の補助事業

（1） 子ども自然教室

自然の中で活動することは、まず第一に心が解放され、その状況下では、人の話を受け入れることが容易になる。

「聞いたことは忘れる。見たことは思い出す。体験したことは理解する。発見したことは身につく」です。

身近な川には生き物がたくさん生息しており、すぐ足の下の草からは、きれいな染料が取れる。石を磨けば宝石になり、竹は立派な楽器になる。目を輝かしていた子ども達がやがて大きくなり、次の世代にその輝きを伝えてほしい。

（2） 生き物探検隊クライマックス

この講座は、パートⅠ・Ⅱからのレベルアップ講座であり、主に犬山市内の自然を学習した上で、犬山にはない自然体験学習を目的にしたものです。バスを使い、海・山・川と様々な環境に出かけることで、犬山との自然の比較を行う。

参加者からは初めて見る生き物や環境に「感動した」「すごい」などの声が上がり、生き物に興味や関心が湧いたと実感できました。

（3） 新冒険教室

普段やりたくても一人じゃできない、一歩が踏み出せないと思っている子が多いはず。大きなチャレンジではなくても、小さな一歩なら踏み出しやすい。そんな小さな成功体験の積み重ねは、やがて大きな壁を乗り越える礎になるはずです。

これらの体験を通して子ども達は、自分がいつも大人に守られていたり、自分の作った安全圏の中でのみ動いていたことに気づきました。

楽しいというよりハラハラの方が強かった子も何人かいたようですが、思っていたよりも自分が強いことがわかった時、心に大きな変化が現れました。

「自分は、やればできる」という自覚です。

(6) 託児養成事業

託児をしてほしいグループ・団体、行政の方 どうぞ依頼してください！！

託児する人が極めて少ない状況の中、思い切って「しみんてい」では、子どもを預かることによって勉強したり、イベント等に参加したりと子育て中の母親の社会参加に協力できたらと考え、そのための託児を行うボランティアの養成講座を開催しました。

講座名：楽しい講座で、自分を高めよう！！ 『託児養成講座　この指とーまれ！』

「託児って なぁに？」「託児したい人､されたい人」「学びたい人」
★だれもが参加できる、連続講座を開催します。
★フォローアップも含め、多彩な託児のスキルアップを目指します。
◆全８回で2,０００円。

参加者：１２名　　託児ボランティア登録者：８名

回	日程	時間	内容	場所
1	１０月２３日(火)	AM10:00 ～12:00	必要な託児と、託児に必要なこと	犬山市福祉会館
2	１１月　２日(金)	AM10:00 ～12:00	保育士の経験から学ぶ	犬山市福祉会館
3	１１月１３日(火)	AM10:00 ～12:00	子どもの心身の健康と環境づくり	犬山市南部公民館
4	１１月３０日(金)	AM10:00 ～12:00	託児者の実経験から学ぶ	犬山市福祉会館
5	１２月　７日(金)	AM10:00 ～12:00	発達障害の子(軽度)との託児の中での関わり方	犬山市南部公民館
6	１２月１１日(火)	AM10:00 ～PM16:00	先進グループの視察	名古屋・春日井
7	１２月２１日(火)	AM10:00 ～PM15:00	さぁーこれから、どんな活動を・・・！	犬山市南部公民館
8	２月１７日(日)	AM10:00 ～PM15:00	わくわく体験“やってみよう！”	犬山市南部公民館

(7) 甲冑利用・管理事業

平成１８年度から２２年度までの５か年計画で、名古屋市在住の甲冑師熱田伸道先生に、甲冑師を養成してもらい、その間養成を受けている人たちで「犬山甲冑制作同好会」を創設した。

平成２３年度からは、甲冑の利用管理を「犬山甲冑制作同好会」にお願いしています。

「甲冑工房」を借用し、同会に管理運営を行ってもらっています。

甲冑の試着数は、平成２３年度２５５回、２４年度は２４０回です。

(8) まちの駅運営事業

発足当時から【まちの駅】の運営は行っています。
ここ数年、第１・第３日曜日には、高木茂子さんが専任の担当者として、お抹茶（きび団子付き）とコーヒーをお出ししています。
他に、朝市として採れたて野菜の販売などを行っています。

（９） しみんてい広房

Ⅰ　城下町での協働事業

（１）春の犬山お城まつり

４月７日（土）～８日（日）　入場者２,２００人

今年も多くの会員関係者が出店していただき盛況を極めました。
ボランティアで参加していただいた関係者には厚く感謝申し上げます。

（２）犬山城下町日南焼酎まつり

６月２日（土）～３日（日）　入場者４７１人

（3）犬山城下町ビールまつり

9月22日（土）～23日（日）　入場者270人

（4）犬山城下町秋祭り

10月27日（土）～28日（日）　入場者256人

（５）犬山城下町ワインまつり

１１月１０日（土）～１１日（日）　入場者４３５人

（６）犬山城下町あったか鍋と地酒まつり

３月１６日（土）～１７日（日）入場者１，０００人

（7）城下町百円（縁）市

第３日曜日

今年度より「城下町を活性化する会」が第３日曜日に、市民ももっと気楽に出店してもらうため、百円の目玉商品を中心に店を出す百円市を始めたので、しみんていの会も参画した。

（8）犬山城下町おひなさまめぐり

２月９日（土）～３月１０日（日）

犬山北のまちづくり推進協議会が提唱し、城下町をお雛様で埋めようと活動を開始したので、しみんていの会も参画した。

Ⅱ　他の協働事業

（１）愛フェス２０１２

９月２９日（土）　　入場者１００人

ファンドレイジングと東北支援をしている祭事に参画。
今年度は、９月３０日が台風の恐れありということで１日中止した。
クラフト作りでは、子ども向けの「くるくるレインボー」「紙ブーメラン」「紙竹とんぼ」で好評を得た。

（２）犬山市産業振興祭

１０月１３日（土）１４日（日）　１,０００人

この事業には、犬山しみんていの会のＰＲと、子ども向けのクラフト作りを持って参加した。クラフトは、くるくるレインボー、紙竹とんぼ、伊勢型紙を出展。

（３）第４回 Make a CHANGE Day

１０月中のボランティア活動で参画

この催事は、全国にボランティア活動を広げ、参画することによって社会を変えていこうとする趣旨で開催されている。今年度は「奨励賞」を受賞した。

Ⅲ　広　房

（１）「円空伝説と円空仏の魅力について」講話

５月２０日（日）午後４時～６時　参加者１４人

黒野興起さん（地方史研究家）の円空に関わる楽しいお話を充分に聴くことができま

（２）「現地のお堂で見る円空仏」円空探訪ツアー

５月２８日（月）午前９時～午後４時　参加者１４人

美濃白川町へでかけ、円空仏を実際に拝見してきました。地元の人から興味のある話を聞きながら円空さんに触り、身近に拝見できました。同行者は先日話をいただいた黒野興起さんです。ありがとうございました。

（3）お話を聞いて　すいとんを食べよう

８月５日（日）午前１０時～１２時　参加者６人

（4）こどもひろば

８月１９日（日）午前１０時～１２時　参加者６人

(10) 犬山「子ども大学」

平成２４年度は、２２講座４３１人です。ここ数年やや受講者が減ってきていますが、これは児童・生徒数自体が減少してきていることとも関係があるものと考えています。（23 年度 21 講座 453 名、22 年度は 22 講座 473 名、21 年度 21 講座 408 名、20 年度 22 講座 436 名、19 年度 17 講座 362 名、18 年度 18 講座 363 名、17 年度 15 講座 287 名、16 年度 13 講座 196 名）

24 年度の特色は、「生き物探検隊クライマックス」が活動時間 7 時間を 4 回、「新冒険教室」では活動時間 7 時間を 10 回です。これが子ども達に与える貢献を今後よく見てゆきたいと思います。

私は、子ども達の世界から集団による遊びがなくなったことが、子ども達に大きな問題を引き起こしている主因と考え、その方策として子ども達に仲間との関り方、友達づくりになることのできる機会を数多く作って来ました。この姿勢は今後とも変わることはありません。

※　具体的な活動内容は、別冊参照。

平成２４年度　犬山「子ども大学」　講座一覧

＜犬山市委託事業＞

① 国際理解　料理と音楽で世界をつなごう！子ども外交官――36 人
② 日本文化にふれよう！“お茶・お花”――22 人
③ 生き物探検隊　パートⅠ　午前の部――20 人
④ 生き物探検隊　パートⅠ　午後の部――16 人
⑤ 生き物探検隊　パートⅡ――18 人
⑥ サイエンス　電子工作――15 人
⑦ 君も　エジソンになれる！――30 人
⑧ 子ども　武者クラブ――5 人
⑨ はじめての　楽しい陶芸――23 人
⑩ 囲碁・将棋たいけん教室――15 人
⑪ 伊勢型紙“やさしい　型紙づくり と 型ぞめ”――20 人
⑫ 楽しく絵をかこう　午前の部――23 人
⑬ 楽しく絵をかこう　午後の部――16 人
⑭ 和太鼓を　たのしく　たたこう――14 人
⑮ 押し花で　ものづくり――21 人
⑯ 犬山原始人クラブ――21 人
⑰ おもしろ　レクスポーツ――28 人
⑱ 冒険教室――16 人
⑲ 子どもの自然教室　午後の部――21 人

＜「RING! RING! プロジェクト」　競輪の補助事業＞

① 子どもの自然教室　午前の部――21 人
② 生き物探検隊　クライマックス――15 人
③ 新冒険教室――15 人

計 431 人

〔Ⅴ〕調査研究・政策提言事業

（1） 政策提言

ＮＰＯに関わる平成２５年度の提案書を犬山市長へ
平成２４年１０月１９日、ＮＰＯに関わる提案書を犬山市長と犬山市教育委員会へ提出した。

提言書抜粋
（１） しみんていの炊事場の改修について
（２） 犬山市のボランティア・ＮＰＯとの協働ルールの作成について
（３） 犬山市の多文化共生時代への対応＝外国籍の子ども居場所づくり～学習支援～
（４） コミュニティ組織の育成と結成支援の取り組みについて
（５） 市の委託事業化の推進について
（６） 甲冑工房の運営管理について
（７） 犬山子ども大学について
（８） 小中学校配置の外国籍児童生徒に対する指導員の待遇改善について
（９） 犬山市役所でのＮＰＯ活動に対する理解促進及び啓発事業
① ＮＰＯ会計庁内連絡会議の開催
② ＮＰＯに関する職員研修の実施について

（2） 視察研修について

平成２５年１月２１日（月）～２２日にかけ、岡崎市のサポートセンターの指定管理者である「ＮＰＯ法人　岡崎まち育てセンターりた」に視察勉強させてもらい、その夜は「かんぽの宿　三ヶ根」で１０人余りが宿泊し交流を深めた。

（3） 政策ＮＰＯ学会に参加

平成２５年７月７日（土）～８日（日）に総会と勉強会に豊田市にある学泉大学へ出かけ、交流を深めてきた。

（4） 全国ボランティアコーディネイター研究集会へ参加

平成２５年３月２日（土）～３日（日）に愛知淑徳大学で開催されたので出席しＮＰＯの人たちと交流を深めてきた。

〔VI〕 施設運営・整備事業

（1） 施設利用状況

２０１２年度
市民活動支援センター利用者調べ

年／月	来館者数	団体利用		個人利用者数	
		団体数	利用者数	コピー	印刷
” 12/04	2,942	26	214	16	18
5	777	15	160	12	12
6	790	15	152	10	10
7	376	17	195	14	9
8	344	32	496	19	7
9	632	28	307	8	9
10	790	30	408	14	14
11	959	24	290	13	9
12	389	25	353	3	8
” 13/01	703	25	329	9	3
2	406	15	135	11	9
3	1553	18	186	21	17
合計	10,661	270	3,225	150	125

総利用者数	10,661 人
総利用団体	270 団体

（2） 前年度までの利用者･団体数の推移

年　　度	総利用者数	総利用団体
2011	18,406	275
2010	16,849	351
2009	14,396	374
2008	14,165	445
2007	12,264	294
2006	11,425	297
2005	6,188	262
2004	5,454	242

〔Ⅶ〕 会議開催状況

しみんていの会議は定例会として月１回開催し、理事会、運営委員会を交互に実施しています。また、しみんていが主催する重点イベントなどはその都度実行委員会を設置し、内容及び運営体制など具体的な方策の検討をしてきた。

（１） 定例会議

名称	回	日時	主な議題
理事会	第１回	４月２５日（火）	＊ 総会資料について、理事長選任
	第２回	７月１０日（火）	＊ フォーラム実行委員会立ち上げについて等
	第３回	９月１１日（火）	＊ 市長提言書について等
	第４回	１１月　６日（火）	＊ 視察と宿泊交流について、フォーラム等
	第５回	１月　８日（火）	＊ 市民活動交流フォーラムについて等
	第６回	３月１２日（火）	＊ あったか鍋・地酒まつり等
臨時理事会		２月２３日（土）	＊ 理事の選任・新事務局長について
運営委員会	第１回	６月１２日（火）	＊ 託児養成講座、地域づくりセミナーの開催等
	第２回	８月　７日（火）	＊ 市民活動交流フォーラム、愛フェス参加等
	第３回	１０月　９日（火）	＊ 犬山産業振興祭、ワインまつり等
	第４回	１２月１１日（火）	＊ 城下町おひなさまめぐり、フォーラム等
	第５回	２月　５日（火）	＊ ２５年多文化共生セミナー、託児者登録等

※今後の理事会は、案内理事に限定。
※理事会と運営委員会は毎月１回交互に実施。（第２火曜日）

（２） その他の会議

（１） 市民活動交流フォーラムの実行委員会を７月より２月まで、毎月１回開催。

（２） 理事会、運営委員会開催前に、しみんていに関わる団体の講話をお願いすることにして開催。

（３） 城下町の共同事業等において、会合に多数参加しました。

犬山祭り春・秋、焼酎まつり、ビールまつり、ワインまつり、地酒まつり、百円市、おひなさま巡り、等々。

〔IX〕 平成２４年度決算報告

平成２４年度収支計算書　特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

2013/3/31 現在（単位：円）

Ⅰ．経常収入の部

科　　目	予　算	決　算	差　異	備　　考
１，会費				
①正会員	200,000	178,000	△22,000	1口 2000円×89口 （個人 55人 55口、団体 30体 34口）
②賛助会員	200,000	8,000	△192,000	1口 2000円× 4口 （個人 3人 3口、団体 1体 1口）
③情報会員	30,000	20,000	△10,000	1口 2000円×10口 （個人 10人 10口）
小　計	**430,000**	**206,000**	**△224,000**	
２，委託料				
①設備運営事業	2,430,000	2,480,802	50,802	施設管理、消耗品
②コーディネイト事業	2,565,000	2,565,000	0	各種相談・支援
③NPO協働推進事業	1,200,000	1,200,000	0	フォーラム、市助成金、ネットワーク構築、 行政との協働実践事業
④子ども大学委託事業	6,549,000	6,549,000	0	国際理解など１９講座
小　計	**12,744,000**	**12,794,802**	**50,802**	
３，助成金				
①犬山市観光協会	300,000	300,000	0	甲冑管理
②タイム技研	100,000	100,000	0	甲冑支援
③あいちモリコロ基金	600,000	600,000	0	木曽川源流、夏・冬の交流合宿
④財ＪＫＡ公益事業	671,000	591,858	△79,142	自然教室ＡＭ、生き物ｸﾗｲﾏｯｸｽ、新冒険教室
小　計	**1,671,000**	**1,591,858**	**△79,142**	
４，参加費				
①広房事業	100,000	53,030	△46,970	
②人材育成事業	80,000	69,800	△10,200	NPO研修会 6,000 、託児養成講座 32,300 ファシリテーター養成講座 31,500
③ネットワーク事業	1,300,000	1,469,345	169,345	ﾌｫｰﾗﾑ 308,025、甲冑 162,300、冬の合宿 480,000 振興祭 10,900、愛ﾌｪｽ 12,100、夏の合宿 496,020
④財ＪＫＡ公益事業	0	234,000	234,000	自然教室ＡＭ、生き物ｸﾗｲﾏｯｸｽ、新冒険教室
小　計	**1,480,000**	**1,826,175**	**346,175**	
５，使用料				
①設備運営事業	150,000	118,752	△31,248	印刷・コピー・紙折り
②城下町協働事業	0	333,990	333,990	ビール・ワイン春 1,600 秋 19,300、 地酒祭 313,090
③地域協働事業	0	48,150	48,150	備品貸出し等
④拡大印刷事業	220,000	128,750	△91,250	拡大の横断幕・立て看板等の印刷
⑤その他	0	524,904	524,904	まちの駅 438,960、自販機 56,644、 百円市 29,300
小　計	**370,000**	**1,154,546**	**784,546**	
６，寄付金･その他収入				
①寄付金	80,000	76,469	△3,531	管理 580、広房 27,560、イベント 42,929、 施設運営 5,400
②受け取り利息	0	581	581	
③雑収入	10,000	108,762	98,762	愛フェス、暖房費、ボランタリーネイバーズ
④前年度繰越金	1,000,000			
小　計	**1,090,000**	**185,812**	**△904,188**	
経常収入合計	**17,785,000**	**17,759,193**	**△25,807**	

Ⅱ．経常支出の部

科　　目	予　算	決　算	差　異	備　　考
［1］ 事業費				
１　研修事業				
①ＮＰＯリーダー育成研修	200,000	179,252	△20,748	謝礼 150,000、交通郵送 23,900、消耗品他 5,352
小　計	200,000	179,252	△20,748	
２　普及啓発・情報提供事業				
①ニュースの発行	170,000	214,900	44,900	謝礼 6,000、郵送費 108,550、消耗品費 100,350
②ネットワーク運営	600,000	566,400	△33,600	ホームページの改善・更新
③大掲示板整備	5,000			
小　計	775,000	781,300	6,300	
３　相談・助言事業				
①コーディネート助言・相談	2,599,000	2,543,200	△55,800	NPO 相談･助言、市助成金支援、協働ｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ等
小　計	2,599,000	2,543,200	△55,800	
４　人材交流ネットワーク				
①市民活動交流フォーラム	303,000	723,786	420,786	人件費 127,440、謝礼 122,850、東北物産他 473,496
②NPO 行政協働実践事業	176,000	169,920	△6,080	市民活動人件費 84,960、協働事業人件費 84,960
③しみんてい広房事業	213,000	117,926	△95,074	広房 54,400、愛フェス 48,229、振興祭 15,297
④まちの駅運営事業	60,000	156,299	96,299	謝礼 28,000、材料･消耗品 118,223、百円市 10,076
⑤甲冑管理・利用事業	630,000	734,692	104,692	謝礼 100,000、借料 564,000、光熱費他 70,692
⑥子ども大学事業	6,549,000	6,549,000		１９講座犬山市
⑦地域で子ども自然体験	1,008,000	1,097,083	89,083	人件費 84,000、生き物探検隊ｸﾗｲﾏｯｸｽ 297,296、子ども自然教室 AM281,583、新冒険教室 434,204
⑧多文化共生推進事業	40,000			
⑨夏の交流合宿	709,000	618,453	△90,547	人件費 102,000、消耗品･借料他 516,453
⑩冬の交流合宿	710,000	564,067	△145,933	人件費 102,000、消耗品･借料他 462,067
⑪託児者養成	405,500	90,581	△314,919	謝礼 72,000、交通･郵送費 3,641、消耗品 14,940
小　計	10,803,500	10,821,807	18,307	
５　調査研究・政策提言事業				
①研　　修	50,000	67,476	17,476	研修費 27,410、交通費 40,066
②政策提言	10,000			
③研究・情報収集	60,000	108,380	48,380	新聞図書費 56,380、諸会費 52,000
④ポニー牧場調査・研究	10,000			
⑤まちづくり研究集会	50,000			
小　計	180,000	175,856	△4,144	
６　施設運営・整備				
①管理運営	2,937,000	2,157,736	△779,264	管理人人件費
②環境整備	10,000	5,173	△4,827	修繕費
小　計	2,947,000	2,162,909	△784,091	
７　その他事業				
①自主事業（祭り）		285,617	285,617	材料費 263,417、諸会費 21,000、交通費 1200
②拡大印刷事業		124,328	124,328	消耗品費
小　計	0	409,945	409,945	
事業費合計	17,504,500	17,074,269	△430,231	
［2］ 管理費				
１、謝礼		20,600	20,600	
２、通信費		59,640	59,640	
３、郵送費		76,485	76,485	
４、借料		108,200	108,200	コピー機、印刷機 使用料（市へ納入）
５、水道光熱費		63,858	63,858	プロパン使用料等
６、旅費交通費		63,317	63,317	NPO 連絡会議等各種会議出席時交通費
７、広告宣伝費		7,350	7,350	新聞広告費
８、使用料		12,000	12,000	自販機行政財産使用料
９、消耗品費		200,234	200,234	印刷用紙代等
１０、消耗備品費		24,780	24,780	
１１、新聞図書費		33,000	33,000	新聞代
１２、研修費		4,000	4,000	食品衛生講習会
１３、保険料		32,950	32,950	
１４、租税公課		271,100	271,100	消費税 265,500、印紙代
１５、諸会費		42,000	42,000	商工会議所、青少年育成、まちづくり協会
１６、支払い手数料		5,680	5,680	
１７、印刷費		60,900	60,900	インク代
１８、慶弔費		10,313	10,313	
１９、雑費	300,000	6,100	△293,900	愛フェス、祭協賛金他

管理費合計	300,000	1,102,507	802,507	
経常支出合計	17,804,500	18,176,776	372,276	
経常収支差	△19,500	△417,583		

Ⅲ．経常外費用

科　目	予　算	決　算	差　異	備　　考
１、過年度損益修正損		154,297	154,297	過年度助成金減額分（ｾﾌﾞﾝｲﾚﾌﾞﾝ、ゆめ基金）
経常外損失合計		154,297	154,297	

	決　算	備　　考
Ⅳ．当期正味財産増加分	△571,880	
Ⅴ．前期繰越正味財産	2,815,401	
Ⅵ．正味財産合計	2,243,521	

平成２４年度

特定非営利活動法人にかかる事業会計貸借対照表

平成２５年３月３１日　　現在

特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

（単位：円）

科目・摘要	金額		
Ⅰ資産の部			
流動資産			
（現金・預金）			
現　　金	292,978		
普通預金	569,026		
定期預金	1,404,433		
現金・預金　計		2,266,437	
（売上債権）			
未 収 金	36,830		
売上債権　計		36,830	
（有価証券）			
図 書 券	20,000		
有価証券　計		20,000	
（その他流動資産）			
前払費用	8,190		
その他流動資産　計		8,190	
流動資産　合計			2,331,457
資産の部　合計			2,331,457
Ⅱ負債の部			
流動負債			
未払金	55,040		
預り金	32,896		
流動負債　計		87,936	
負債の部　合計			87,936
Ⅲ正味財産の部			
正味財産	2,243,521		
(うち当期正味財産増加額)	△ 571,880		
正味財産　計		2,243,521	
正味財産の部　合計			2,243,521
負債・正味財産の部　合計			2,331,457

平成２４年度

特定非営利活動法人にかかる事業会計財産目録

平成２５年３月３１日　　現在

特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

（単位：円）

科目・摘要	金額		
Ⅰ資産の部			
流動資産			
（現金・預金）			
現　　金	292,978		
普通預金　十六銀行	569,026		
定期預金　十六銀行	1,404,433		
現金・預金　計		2,266,437	
（売上債権）			
未 収 金	36,830		
売上債権　計		36,830	
（有価証券）			
図 書 券	20,000		
有価証券　計		20,000	
（その他流動資産）			
前払費用	8,190		
その他流動資産　計		8,190	
流動資産　合計			2,331,457
資産の部　合計			2,331,457
Ⅱ負債の部			
流動負債			
未払金	55,040		
預り金	32,896		
流動負債　計		87,936	
負債の部　合計			87,936
正 味 財 産			2,243,521